



Green Bond Framework



2024年7月23日 策定

はじめに

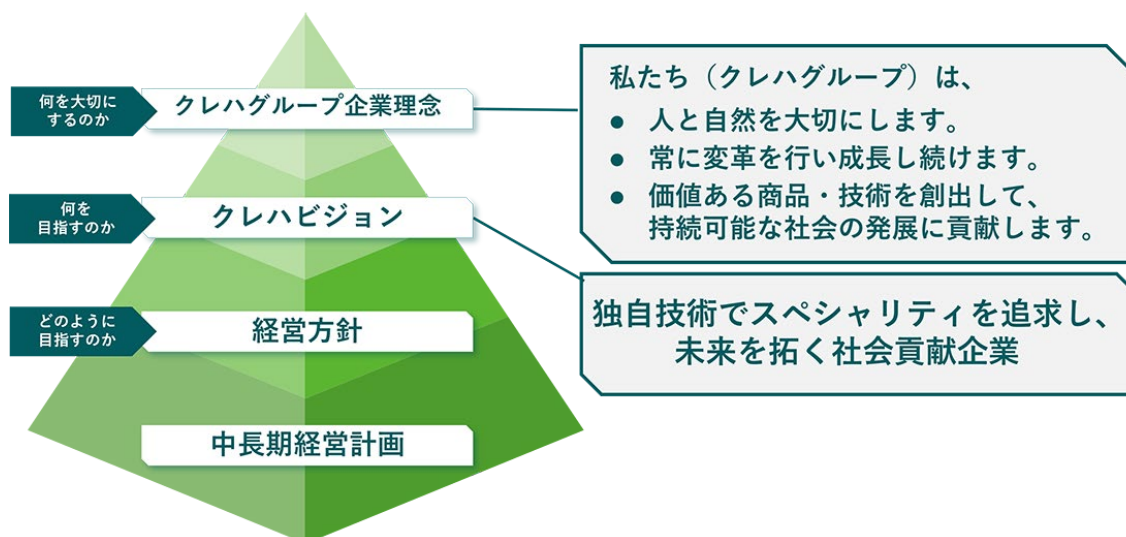
1. 会社概要

株式会社クレハ（以下「当社」）は、1944年の創立以来、独創的な製品を数多く創出してきた技術開発型企業です。“BROAD BASE, BUT SPECIALTY”（視野は広く、専門性は高く）という精神を背景に、さまざまな分野にわたる製品を開発してきました。当社グループは、当社および子会社 28 社（内、連結子会社 26 社）、関連会社 6 社（内、持分法適用会社 1 社）から構成され、機能製品、化学製品、樹脂製品の製造・販売をその主な事業内容とし、更に各事業に関連する設備の建設・補修、物流、環境対策およびその他のサービス等の事業活動を行っています（2024年4月1日現在）。

2. 経営方針・戦略

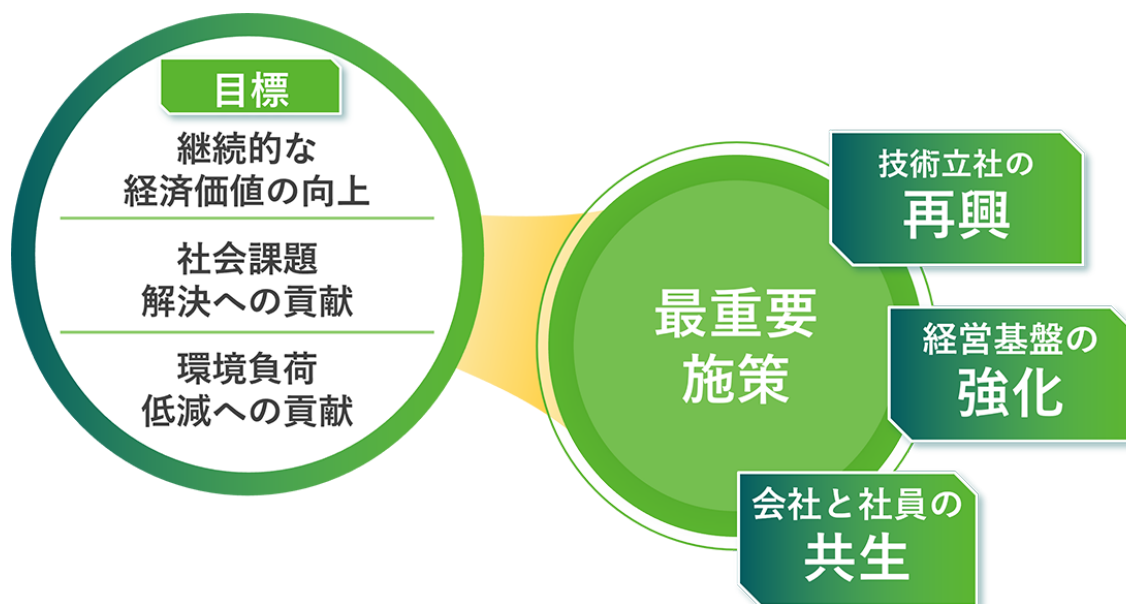
当社は、「中長期的な企業価値の向上」と「持続可能な社会への貢献」を両立し、サステナビリティ経営を推進してクレハグループを一層発展させるべく、『クレハグループ企業理念』、『クレハビジョン』、2030年度に向けた『経営方針』と「クレハグループ中長期経営計画『未来創造への挑戦』」を下記の通り策定しています。

■ 企業理念およびクレハビジョン



■経営方針

クレハビジョン（何を目指すのか）の実現のために、3つの目標と3つの最重要施策を定めました。



〔目標〕

継続的な経済価値の向上

- ・ 「環境・エネルギー」、「ライフ」、「情報通信」の3分野を重点事業分野とし、クレハグループの経営資源を集中して経済価値の向上を目指す。
- ・ マーケットインの視点で既存商品の性能向上とバリューチェーンの拡大を図り、コスト競争力をもって顧客への提案力を強化し、収益を拡大する。

社会課題解決への貢献

- ・ これまでも、3つの重点事業分野で社会貢献してきたクレハグループの商品を、自社による技術開発と外部技術の融合によりさらに進化させ、社会に提供する商品、技術、サービスを拡充する。

環境負荷低減への貢献

- ・ 2050年度にカーボンニュートラルを目指す。
- ・ 循環型生産に適う生産技術の高度化を推進し、廃棄物削減やリサイクルの推進により環境負荷を低減する。

〔最重要施策〕

技術立社の再興（研究・技術開発力の強化）

- ・ 新商品開発と環境負荷低減に集中的に資源を投下し、差別化された商品の開発を加速する。

- ・ 他社との協創・協業、M&A 等を通じ、自社保有技術と外部技術の融合を図り、新規事業を創出し拡大する。
- ・ 成長事業の生産体制の構築を迅速に進めるとともに、環境負荷低減に向けた生産技術力、エンジニアリング力を強化する。

経営基盤の強化

- ・ サステナビリティ経営を推進する組織の強化と、執行体制の効率化、リスク・マネジメントの強化等を継続的に実施する。
- ・ クレハグループの経営資源を有効活用し、強固な連結事業基盤を構築する。
- ・ 顧客や社会の潜在ニーズと研究開発-製造-営業をつなぐバリューチェーンの連携により、経営高度化を実現するデジタル化戦略を推進する。

会社と社員の共生

- ・ 社員の「働きがい」と「ミッション」を調和、融合し、社員と会社がともに成長を目指す。
- ・ 会社と社員のコミュニケーションを充実するとともに、挑戦する社員を登用する。
- ・ 社員の多様な価値観や立場を尊重し、働きやすい職場環境を整備するとともに、障がい者の就労機会を積極的に提供し自立を支援する。

■クレハグループ中長期経営計画「未来創造への挑戦」（2023～2030 年度）

〔2030 年度のありたい姿〕

- ・ 「環境・エネルギー」、「ライフ」、「情報通信」の重点事業分野で、独自の技術により差別化された商品・技術を提供し、お客様の満足を得て、「経済価値」を示す業績が向上している。
- ・ 環境および社会課題解決に貢献する商品・サービスを提供し「社会価値」が増大している。
- ・ クレハグループの CO₂ 排出量が削減され、事業から生じる環境負荷が低減されている。
- ・ 会社は社員の多様な価値観を尊重し、社員のエンゲージメントがより向上している。

〔2030 年度の定量目標*¹〕

売上収益	2,800 億円
営業利益（%）	350 億円以上 12.5%以上
ROE	9.0%以上
エネルギー起源の CO ₂ 排出量削減	2013 年度比 30%以上
廃棄物ゼロエミ率* ²	1.5%

*¹：2030 年度までの業績目標および重要業績評価指標は、2026 年度から始まる次期中期経営計画発表時に改めて開示します。

*²：廃棄物ゼロエミ率：産業廃棄物の最終（埋立）処分量÷総発生量

〔研究・技術開発の主要テーマ〕

分野	主要テーマ
環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ フッ化ビニリデン樹脂、PPS 樹脂等の機能樹脂の性能向上、環境負荷・製造コストの低減 ・ 航空宇宙産業向けの新素材開発と市場参入（軽量化・省エネ） ・ カーボンニュートラル実現のための技術基盤確立
ライフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な農業と食糧供給に貢献する農薬の継続的な開発・上市
情報通信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代デジタル電子機器向けのフッ化ビニリデン樹脂製ピエゾフィルムの用途拡大と市場投入

当社グループは、サステナビリティ基本方針を『クレハグループ企業理念を实践し、独自性のある差別化された商品と技術を産み出すことにより未来を創造し、継続的な経済価値の向上と社会課題解決への貢献を推進する。』とし、中長期経営計画と一体となった経営戦略のもと、サステナビリティ経営を進めています。

この度、これらの取り組みを推進するため、グリーンボンドによる資金調達を行うべく、グリーンボンドフレームワーク（以下「本フレームワーク」）を以下の通り策定しました。

グリーンボンドフレームワーク

本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の定めるグリーンボンド原則（GBP）2021 および環境省の定めるグリーンボンドガイドライン（2022 年版）に基づき、以下の 4 つの要素で構成されています。また、ICMA の定めるグリーン・イネープリング・プロジェクト・ガイダンス（Green Enabling Projects Guidance document）を参照しています。

1. 調達資金の使途
2. プロジェクトの評価および選定プロセス
3. 調達資金の管理
4. レポーティング

1. 調達資金の使途

グリーンボンドにより調達した資金は、以下の適格クライテリアを満たすプロジェクト（以下「適格プロジェクト」）に係る新規投資に充当する予定です。

■ 適格クライテリア

ICMA GBP 事業区分	適格クライテリア
クリーン輸送	車載用リチウムイオン二次電池向けフッ化ビニリデン樹脂生産に係る設備投資

■ 適格プロジェクト

いわき事業所におけるリチウムイオン二次電池向けフッ化ビニリデン樹脂生産設備の増強

フッ化ビニリデン樹脂はリチウムイオン二次電池用バインダーおよび一般産業用エンジニアリング・プラスチックとして使用されています。近年、各国の環境保護意識の高まりなどにより、車載用リチウムイオン二次電池向け需要の拡大が続いています。お客様からの供給拡大の要請に応え、当社最大の事業と位置付けるフッ化ビニリデン樹脂事業のさらなる拡大を図るため、環境負荷低減技術も含めた、過去最大級の投資規模となる生産設備の増強を行います。なお、経済産業省による「蓄電池の国内生産基盤確保のための先端生産技術導入・開発促進事業の採択事業への助成金」および「経済安全保障推進法に基づく認定供給確保計画（蓄電池）の認定供給確保計画への助成金」に対する当社申請は、いずれも経済産業省に採択いただいております。



2. プロジェクトの評価および選定プロセス

■ 適格プロジェクトの選定プロセス

当社の経理財務部が、最新の中期経営計画に定める環境面での持続可能性に係る目標を踏まえ、対象プロジェクトの社内管轄部署等の助言を受けながら、前項「1. 調達資金の使途」に定めた適格クライテリアへの適合状況に基づき、資金充当の対象となるプロジェクトを選定します。その後、取締役会において選定されたプロジェクトについて最終承認します。

■ 環境リスクおよび社会的リスク低減のための取り組み

当社では、プロジェクトの選定にあたり、環境、社会リスク低減のため、以下の項目について対応していることを確認しています。

- ・ 事業実施の所在地の国・地方自治体にて求められる環境関連法令等の遵守と、必要に応じた環境アセスメントの実施

なお、フッ化ビニリデン樹脂を含むフッ素樹脂・フッ素ゴムは化学的および生物学的に安定しており、生体蓄積性がなく目つ毒性がないことを意味する低懸念ポリマーの OECD 基準を満たしています。

3. 調達資金の管理

グリーンボンドにより調達した資金は、経理財務部が適格プロジェクトへの充当状況を関連部署と共有した上で管理します。経理財務部は、グリーンボンドの調達額と同額が適格プロジェクトに充当されるよう、定期的に内部会計システムを用いて追跡管理します。なお、未充当資金がある場合、現金または現金同等物にて管理する予定です。

4. レポートニング

■ 資金充当状況レポートニング

グリーンボンドによる調達資金が適格プロジェクトに全額充当されるまでの間、以下の充当状況に関する情報を年1回、当社ウェブサイト上で開示します。

- ・ 充当した資金の額
- ・ 未充当資金の額

■ インパクトレポートニング

グリーンボンドの残高がある限り、以下の指標に基づく情報を、実務上可能な範囲で、年1回、当社ウェブサイト上で開示します。

ICMA GBP 事業区分	適格クライテリア	インパクトレポートニング指標
クリーン輸送	車載用リチウムイオン二次電池向け フッ化ビニリデン樹脂生産に係る 設備投資	<ul style="list-style-type: none">・ 製品の概要・ 年間生産能力・ CO₂ 排出削減貢献量推計値

以上